

横浜市感染症発生動向調査報告 8月

《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。
- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 梅毒の報告がやや多めです。

◇ 全数把握の対象

〈8月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	9件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4件
A型肝炎	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
レジオネラ症	4件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
アメーバ赤痢	4件	梅毒	17件
ウイルス性肝炎	1件	-	-

- 1 腸管出血性大腸菌感染症:9件の報告(O91が1件(無症状病原体保有者)、O26が2件(うち無症状病原体保有者が1件)、O103が3件(うち無症状病原体保有者が1件)、O128が1件(無症状病原体保有者)、O血清群不明が2件(うち無症状病原体保有者が1件))がありました。
- 2 A型肝炎:1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 3 レジオネラ症:肺炎型3件、ポンティアック熱型1件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 4 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症の報告が3件、腸管および腸管外アメーバ症の報告が1件ありました。いずれも感染経路等不明です。
- 5 ウイルス性肝炎:B型肝炎の報告が1件ありました。異性間性的接触による感染が推定されています。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:4件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 7 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:L群1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 8 侵襲性肺炎球菌感染症:70歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)、10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴3回有)ありました。いずれも感染経路等不明です。
- 9 梅毒:無症状病原体保有者6件、早期顕症梅毒Ⅰ期7件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件、晩期顕症梅毒1件の報告がありました。性別は男性15件、女性2件、推定感染経路は異性間性的接触11件、同性間性的接触が2件、感染経路等不明が4件でした。

◇ 指定感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は神奈川県にて集約されています。
神奈川県衛生研究所ホームページをご参照ください。

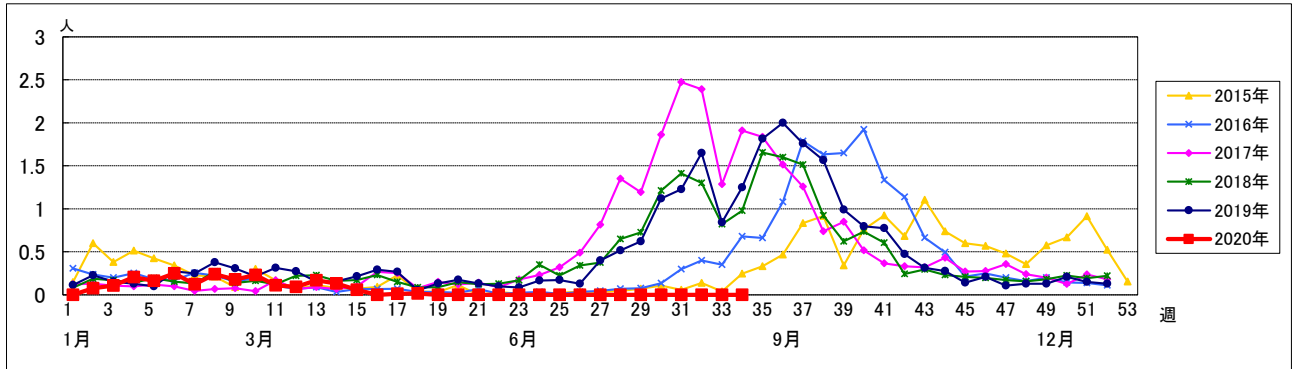
神奈川県衛生研究所感染症情報センター

http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm

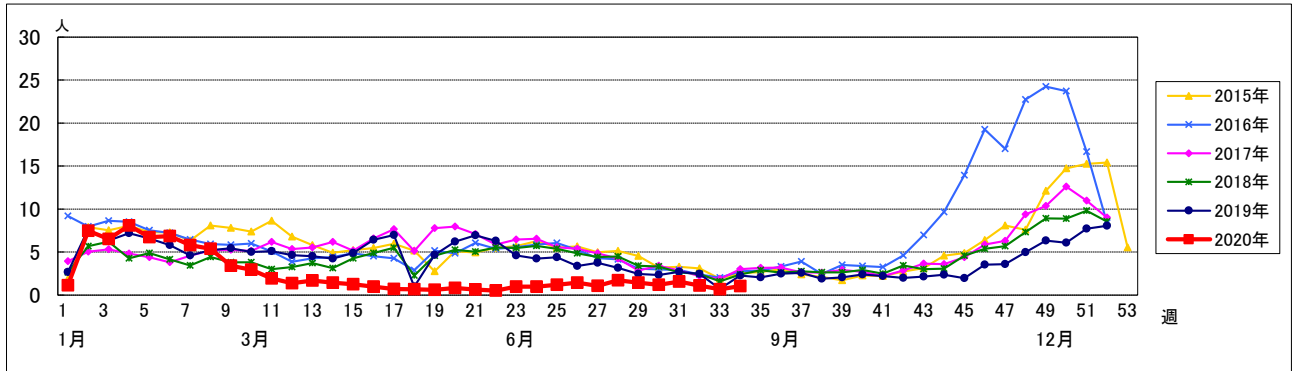
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第31週	7月27日～8月2日
第32週	8月3日～8月9日
第33週	8月10日～8月16日
第34週	8月17日～8月23日

1 RSウイルス感染症: 昨年はこの時期に多くの報告がみられていましたが、今年は、第34週で0.00です。



2 感染性胃腸炎: 例年より低めの報告数で推移していて、第34週は1.03となっています。



3 性感染症(7月)

性器クラミジア感染症	男性:17件	女性:23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 7件	女性: 7件
尖圭コンジローマ	男性: 4件	女性: 2件	淋菌感染症	男性: 18件	女性: 1件

4 基幹定点週報

	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(7月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

7月27日から8月23日までに病原体定点から搬入された検体は、小児科定点17件、内科定点1件、基幹定点0件、眼科定点2件で、定点外医療機関からは3件でした。

ライノウイルス遺伝子9件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果8月期(2020年第31週～第34週)

主な臨床症状	上気道炎
分離・検出ウイルス	
ライノ	9
合計	9

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

〈細菌検査〉

8月期(2020年第31週～2020年第34週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管出血性大腸菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、サルモネラ属菌4件、非定点から腸管出血性大腸菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、過粘稠性肺炎桿菌1件、NTM(非結核性抗酸菌)1件の検査依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌9件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌4件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、保健所からレジオネラ5件の検査依頼がありました。小児科定点からは、溶血性レンサ球菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査 (2020年第31週～第34週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
基幹定点	腸管出血性大腸菌	1	EHEC O103 : H- VT1 (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
	サルモネラ属菌	4	<i>Salmonella</i> Thompson (1)、 <i>Salmonella</i> Saintpaul (1)、 <i>Salmonella</i> Stanley (1)、 <i>Salmonella</i> Manhattan (1)	
	腸管出血性大腸菌	1	EHEC O145 : H- VT2 (1)	
医療機関	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Escherichia coli</i> (1)	
	過粘稠性肺炎桿菌	1	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)	
	NTM(非結核性抗酸菌)	1	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscessus</i> (1)	
	腸管出血性大腸菌	9	O157 : H7 VT2 (2)、O103 : H2 VT1 (2)、 O26 : H- VT1 (1)、O26 : H11 VT1 (1)、 O91 : H21 VT1 VT2 (1)、O128 VT1 VT2 (1)、 OUT : H4 VT1 VT2 (1)	
保健所	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)、 <i>Citrobacter braakii</i> (1)、 <i>Serratia marcescens</i> (1)	
	分離同定	材料	項目	検体数
保健所	喀痰	レジオネラ	5	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)、不検出 (4)
小児サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	溶血性レンサ球菌	1	不検出 (1)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】